

# 例会報告

第2628回例会報告議事録

日時 令和2年11月24日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

## 会長挨拶

木村副会長（代理）



村越会長から特に会長報告はないとのことで何もしゃべらなくていいよと仰せつかっているのですが、前に出てきましたので一言お話をさせていただきます。

毎年この時期になると皆さんにお話をしているのですが、今年の漢字を募集しています。12月6日まで募集していて、12月14日の月曜に今年の世相を表す漢字が発表されます。

去年の漢字を覚えていますか。令和の令という字でした。今年は、世相を表す漢字と、皆さん個人個人で今年一年を振り返って、どんな漢字で表せるかなと思い返していただければと思います。

私は三密の密ではないかと思っています。私個人としては孫が二人生まれてきて、来年の1月末には5人目の孫が生まれてくるので、孫です。

村越年度ももう半分が過ぎようとしています。12月は一年の最後、師走で忙しいのですが、12月21日が冬至です。日が一番短い日です。その反対に夏至というのが一番日が長い日です。その差は大体、東京で4時間49分だそうです。冬至の日を境にだんだん日が長くなっていくので、その日を境に陰から陽に変わっていくということで縁起のいい日です。一陽来復（いちようらいふく）という転機になる日ということで、私はここ10年くらい毎年、冬至の日には早稲田の隣にある穴八幡神社という所に行って、冬至の日から節分までもらえるお札をいただいて仕事場や部屋に貼っています。一陽来復は新しい年が始まる日、悪いことが終わって良いことが始まる日、そういうことで縁起を担ぐ日ということもあり、商売繁盛ということで、来年は一陽来復、コロナのワクチンも開発されて良い年になればいいなと思います。

## 親睦委員会報告

柳田委員長



本日、例会終了後に新年会の打ち合わせをしようかと思っていたのですが、会長幹事が急遽欠席ということになりまして、12月の第2例会の時に皆さんのお知恵を拝借したいと思います。第2例会にぜひご出席いただきたいと思います。

## 我孫子市スポーツ振興応援団について

藤本会員



本日、日本電気NECのラグビーの総務の方と事務局長が私の会社に来られました。

日本のラグビーチームが編成ということで新リーグが発足したそうです。発足するにあたって地域の皆さんと密着した活動をしていきたいとのことで、私は我孫子の南口商店街の世話役をさせていただいており、駅前の街頭と商店の所にグリーンロケットのフラグを掛けさせてくださいというご依頼がありました。

それと同時に、当ロータリークラブはスポーツ振興応援団に入っているのですが、クラブの皆さんとも交流を深めたいというご依頼もありました。新リーグ発足に関するパンフレットをいただきましたので、皆さんにご覧いただきたいと思います。

## 出席委員会報告

前田委員長



23名（出席免除者含む）出席（全員で32名）出席率71.87%

業務による欠席者：村越会長、倉持幹事、梶会員、三枝会員、佐藤雅教会員、堤会員、寺井会員、福武会員、湯下会員



来週は年次総会が例会の時間内にありますのでご出席のほどよろしくお願ひします。

## 卓話

松本会員



今日は3点程まとめてみました。

一つは、産業の現在、未来についての考察。

一つは、企業分析。

一つは投資判断の基準について。

戦後75年、廃墟の中から日本が復活し今現在の日本がありますが、75年前に戻りたいと思います。終戦から75年前に戻るとすると、明治4年です。

明治4年に何が起きたかという、まず廃藩置県。つまり72の県と3つの府ができました。2番目に散髪脱刀。ちょんまげを切って、刀を降ろしました。3番目に郵便役所というものができました。今の郵便局の前身です。

明治6年には鉄道が新橋、横浜間にできました。

明治11年には東京株式取引所、今の東京証券取引所の前身ができました。

明治27年には日清戦争が起こりました。日本はその頃、輸出はほとんど軽工業、繊維工業でした。

明治37年には日露戦争が起こりました。日本は勝ちましたが、日本は鉄鋼を輸出できる力もなかったし、造船もほとんどイギリスなどから買い取って戦争しました。

日露戦争から第一次世界大戦まで間が空きますが、第一次世界大戦で日本は戦勝国になり、大正末期、昭和初期まで景気が非常によかったです。

昭和4年にアメリカの株の大暴落が起きました。暗黒の木曜日と言われました。日本は非常に混乱してバブル崩壊しました。株、物価、土地の価格が落ちました。これが昭和恐慌です。

その後、満州事変、太平洋戦争、そして日本は敗戦を迎えます。

バブルが崩壊して、重化学工業、造船とかの中で財閥ができました。大きな財閥は三菱、三井、住友と安田です。

ここまで戦前75年間の話をしました。

終戦を迎えて、何が起きたかという、日本経済の復活と、女性の家の中の仕事からの解放です。

今日、若い子に「今、洗濯機、掃除機、炊飯器、これがもし全部なくなったらどうするの?」と聞いてみました。「生活、考えられません」と言いました。でも、明治から戦争の間、女性の仕事というのは朝起きて炊事洗濯です。洗濯もゴシゴシ洗い、薪で炊いて釜でご飯を炊く。掃除も拭き掃除。こういうことが戦後に大幅に省略化されました。昭和30年代から40年代、50年代まで徐々に進みました。その中で日本は急成長を遂げました。

そして平成2年にバブルの崩壊が起きました。実は、1987年にブラックマンデー、暗黒の月曜という大暴落がアメリカで起きました。その中でアメリカは経済が非常に厳しくなって、日本は金があるのだから内需を拡大しなさいと言ったのですが、日本は現実には重化学も造船も自動車も伸びてきていたけれど、ある程度ピークを迎えていたと思います。そこへアメリカからの要請もあったし、当時の政府も支援策を取ったし、そうしたら、とんでもないバブルが起きました。100万で買った土地が1年であつという間に200万、300万になりました。そういう時代でした。その時は気がつかない。

1987年にアメリカで大暴落が起きた時、残念ながら日本は浮かれていました。しかし1990年、平成2年の1月から暴落が始まりました。めっきり下がり止まるところを知りません。

ひとつ気が付いたことは、アメリカが暴落した時は世界が大変な目にあうと思って景気が後退したにも関わらず、日本のバブルが崩壊しても残念ながら世界に影響はありませんでした。そういう大きな違いがありました。

バブルが崩壊した後、30年、現在の令和2年までデフレ経済になってしまった。これが大きな問題です。土地の価格は上がらない。金利は遂にマイナス金利になった。

日本長期信用銀行は割引債をやっていました。例えば9,500円や9,600円を払い込み満期が来ると1万円戻ってきます。これが割引債です。ところが造船を含めて重化学の需要がなくなり、不動産投資をしました。それが残念ながら銀行の屋台骨を狂わせてしまった。

(次ページへ続く)

私自身が株式の取り引きをやってて、よくわかっています。証券会社の部長を通して、日債銀の担当者から「私の会社はつぶれることはありません」と言われましたが、つぶれました。長銀もしかり。

戦前75年と戦後75年の国の大きな政策の違いは何かを考えました。

戦前の国の大きな政策は富国強兵でした。国を豊かにし兵力を増強し、場合によっては満州まで行きました。これは明治から昭和20年まで続きました。

戦後は日本の経済を復活すること。そして家電、自動車、様々なものが出てきました。今はGAF A、グーグル、アップルとか、皆さん実際に使っています。アメリカの企業が伸びています。

ソニーは今の評価額はそのアメリカの4社の1社と比べて10分の1以下です。なぜか。一つの説として言われているのは、アメリカは機能を追いかけた、日本は技術を追いかけた、ということです。ソニーは一般の顧客が何を求めているのかとういことに十分に対応できなかったのではないかという説もあります。

実は株式投資を私は中学1年の時からやっています。お年玉やお小遣いがたまっていて始めて、儲けてしまったので気がついたら60年間やってしまった。

ある時期にいくつかの経験をしました。

私の家が永大産業で家を建てていて、その株が大幅に下落したので、株を買おうかと思いました。私は現場を見に行く癖があるので、その会社の東京の売り場へ行ってみました。お昼休みに社員が誰も出てきませんでした。投資しようかと思いましたが、これじゃ駄目だと思いやめました。その次の日、会社更生法が発表されました。びっくりしました。永大産業は倒産しましたが、今現在はもう一回上場しています。その頃はミサワと競争していました。

もう一つ経験したのは赤井電機でした。右肩上がりの会社で第二のソニーと言われました。当時ボーナスが100万でした。その当時の給料は確か2万くらいだったと思います。30万、40万のデッキが売れていました。ところが、社長の赤井さんがスキー場で死んでしまった。後継者がいなかったため、たった2年でガタガタと赤字会社になりました。後継者がどれだけ大事か身にしました。

企業の栄枯盛衰の中で何があるかなと思ったら、まず東京電力です。東京電力の今の株価は289円です。これが33年前、1987年には9,420円でした。33分の1になりました。一番安い時は120円でした。東日本大震災というとんでもないことが起きた時、自然の前には東京電力でさえこうなってしまう。

もう一つお話しすると、東京の電機メーカーでイビデンという会社をご存知ですか。揖斐川(いびがわ)電気です。インテルのICパッケージとか、スマホの基盤、さらにはディーゼル車の黒煙除去する装置等を作っている会社です。なんと中学生か高校生の時でした。これほど変化した企業はあまり見たことがありません。

先程の話の中で私が気がついたこと、ひとつあります。これからの時代、アメリカおよび中国は大国です。株価の暴落が来た時に日本がただじゃすまないことは間違いありません。昭和4年に起きた大暴落、暗黒の木曜日の時、日本は大恐慌。1987年の暗黒の月曜日、これが起きた4年後に日本も大暴落。そして土地は5分の1、中には10分の1に下がりました。万が一暴落が起きた時、日本経済はただじゃすまないと思います。

次は投資基準についてお話したいと思います。

私は長いことやってきているだけの話なのですが、あることに気がつきました。バブルまでの間、何回も暴落もしたし、下落もしました。しかしその時に安値基準というのがありました。一株純資産と利回りです。大儲けはできないかもしれないけど、大損はしませんでした。平成2年からガラッと変わりました。

明治4年に廃藩置県、散髪脱刀、大正4年に第一次世界大戦、昭和4年にはアメリカの大暴落。妙に和暦が変わった2~4年後に、とんでもないことが起きることが多いです。今、令和2年。さて、どうなるか。

政府は2つのことを出しました。IT化。もう1つは脱炭素社会。ピンとこないのですが、実は脱炭素社会を睨んで15年前から努力している企業があります。それをどうやって見抜いて、どの企業が伸びて行くのかどうかはわかりませんが、その方向に政府が号令をかけました。

投資の私なりの鉄則をお話します。

目的のある金で株式は買わない。教育、住宅、老後資金はきちっと確保してください。それで余ったお金があったら株をやられたらいいと思います。決して株でローンの生活をなんとかしよう、株で家を建てよう、株で教育資金をためよう、これは絶対に駄目だと思っています。

信用取引は残念ながら9割が損をします。

私の理論ですが、買いはじっくり、売りは脱兎のごとく。買うのに、1ヶ月、場合によっては3ヶ月。1つの企業に目をつけたら、じっくり買いつけます。株価が上がってしまったら脱兎のごとく逃げます。こんなことを繰り返して来ました。買うのは難しくないのかもしれませんが、売りは難しいです。実践して損を

し、儲け、そして経験として生かしていく。それも1つのやり方かなと思います。  
雑駁ではございますが、以上です。

**Q: 今後の展望は?**

A: やはりIT関連と脱炭素が決定打になると思います。今の日本はデジタル後進国ですが、本腰を入れてアメリカを追いかけようとしています。脱炭素に関しては日本とドイツは進んでいます。

**開会の言葉**

木村副会長 (代理)

松本会員、卓話をありがとうございました。以上を持ちまして2628回の例会を閉会いたします。  
点鐘いたします。

**ニコニコBOX**

| お名前    | メッセージ                                 | 金額       |
|--------|---------------------------------------|----------|
| 荒井会員   | 松本会員 卓話ありがとうございました。                   | 1,000円   |
| 石原会員   | 為になるお話ありがとうございました。                    | 1,000円   |
| 小野会員   | 松本会員 卓話ありがとうございました。                   | 1,000円   |
| 上村英生会員 | 松本会員 貴重な話をありがとうございます。                 | 1,000円   |
| 上村文明会員 | 松本会員 卓話ありがとうございました。                   | 1,000円   |
| 小池会員   | 松本会員 卓話ありがとうございました。                   | 1,000円   |
| 関根会員   | 卓話ありがとうございました。                        | 1,000円   |
| 服部会員   | 松本先生 卓話ありがとうございました。                   | 1,000円   |
| 日暮会員   | 卓話ありがとうございました。                        | 1,000円   |
| 藤本会員   | 松本先生 イビデン懐かしいです。赤井電機、取引先でした。          | 1,000円   |
| 前田会員   | 卓話ありがとうございます。                         | 1,000円   |
| 依田会員   | 松本先生 株と経済の話ありがとうございます。<br>松本先生に投資します。 | 1,000円   |
| 米田会員   | 松本会員 卓話ありがとうございました。                   | 1,000円   |
| 瀧日会員   | 松本会員 本業外の経済分析に伴う投資の話<br>興味深くうかがいました。  | 1,000円   |
|        | 当日計                                   | 14,000円  |
|        | 今期累計                                  | 277,000円 |

今週の表紙「古利根」千葉県我孫子市中峠

古利根は我孫子市の北部にある三日月形の沼です。度重なる水害をなくす為に明治末期に利根川の改修工事が行われ、その結果、蛇行部分が残って出来ました。

現在の古利根沼は豊かな緑に囲まれ、利根川からあがってくる種々の魚の釣り場として多くの市民に親しまれています。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。